

令和6年度第2回津島市総合教育会議 議事録

1. 日時

令和7年2月12日（水） 午後2時00分から午後2時56分まで

2. 場所

津島市役所 3階市長公室

3. 出席者

構成員：日比市長、浅井教育長、小出委員、古川委員、奥村委員、畑中委員

事務局：市長公室長、教育委員会事務局長、教育委員会事務局次長兼東公園整備推進室長、企画政策課長、学校教育課長、指導主事、社会教育課長、担当職員2人

傍聴者：0人

4. 議事

①令和7年度当初予算案における主な事業について

②津島市スポーツ推進計画について

5. 会議内容

1) あいさつ

（日比市長）

- ・本年1月で阪神淡路大震災から丸30年を迎え、また昨年発生した能登半島地震から1年が経過した。この地域は、高い確率でマグニチュード8～9クラスの巨大地震が発生することが予測され、地震による甚大な被害が発生することが予想されている。過去の震災の教訓を生かし、自助・共助・公助の3つを軸に、学校も含め、津島市が地域一体となって、防災意識を高めていく必要がある。
- ・8月に開催した前回の会議では、「T P Pプログラミング教育について」、「津島市スポーツ推進計画（仮称）について」の2件を議題として、貴重なご意見をいただいた。
- ・今回は、「令和7年度当初予算案の主な事業について」と「津島市スポーツ推進計画について」の2件を議題としている。いずれも、本市が現在進めている教育施策に関連する内容となっている。
- ・前回同様に、有意義かつ活発な意見交換をしていきたい。

(浅井教育長)

- ・今、市長からも話があったように、防災に関しては待ったなしの状況になっている。防災学習、防災教育について本当に大事な時期に来ている。
- ・2月9日(日)、第12回の津島の達人ジュニア選手権を開催した。31組、62名の子どもたち、応援の保護者、サポーターの教職員を合わせ150人程度が児童科学館に集まり、無事終了した。結果は、蛭間小学校が5年ぶりに2度目の優勝を果たした。
- ・神野大地氏によるスポーツ講演会、社会教育のわくわくフェスティバル等、今年度後半の大きな事業が次から次へと終了していく。そして来年度の準備が、人事も含め、始まっている。
- ・本日の議題は、「令和7年度当初予算案における主な事業について」、「スポーツ推進計画」の2件で、スポーツ推進計画については、前回会議でも話し合っていたが、本日、スポーツ推進計画の進捗状況を聞いていただき、市のスポーツ行政の指針となる計画についてご意見を伺いたい。
- ・本日の会議では、教育行政に関する率直なご意見、ご感想をいただき、今後の教育施策に生かしていきたいと考えている。忌憚のないご意見をお願いしたい。

2) 議題1 令和7年度当初予算案における主な事業について

(日比市長)

- ・令和7年度当初予算案における主な事業について事務局から説明する。

(学校教育課長)

- ・総額は22億141万1,000円で前年度比の3.1%増となっている。
- ・事務事業費は16億5,309万7,000円で、学校教育課分は10億7,863万5,000円である。
- ・学校教育指導費4,327万8,000円のうち、学校教育指導事業として2,580万7,000円を計上した。
- ・楽しくて役に立つプログラミング教育の実践を目指して事業を展開し、夏に第2回T P P市長杯を予定しており、それに伴う関連予算を計上している。今年度と同様、外部講師に小中学校でプログラミング授業を実施していただくため、また、大学教授にプログラミング授業の取組向上の研究事業等に出席していただき指導助言をいただくため、ロボット・ブロックプログラミング教育事業報償費145万3,000円を計上した。

- ・また、プログラミング大会運営支援委託料 66 万円、プログラミング大会用競技コースシート 50 万 4,000 円についても、大会開催費用として計上した。
- ・小中学校教育指導事業 48 万 8,000 円は、児童生徒の不登校対策として設置している教育支援センターの消耗品費等である。教育委員会では、今年度、不登校生徒の居場所となるよう、教育支援センター「ほっとルーム」を市内全中学校に設置した。
- ・領事館交流プロジェクトについて、令和 5 年度から県内 8 つの領事館と市内 8 小学校との交流事業を行っている。
- ・先月、神守小学校がトルコ総領事館と、伝統文化の紹介などお互いの国の紹介や体験を行った。また、蛭間小学校の 6 年生の児童が中国総領事館に招待され、ヤムチャを楽しくいただくなど様々な文化交流を行っている。さらに、本日は、東小学校とブラジル領事館が交流を行い、文化等を勉強した。
- ・令和 7 年度も、子どもたちが国際人として成長し、国際社会に貢献できるよう、人材育成の一助となるよう、領事館交流事業を引き続き実施していく。
- ・学校施設を維持管理していく経費である学校管理費について、小学校で 2 億 6,131 万 3,000 円、中学校で 1 億 5,317 万 8,000 円、合わせて 4 億 1,449 万 1,000 円を計上した。
- ・主な事業は、学校施設の長寿命化事業である。児童生徒が安心安全、快適な環境で学校生活を送れるよう、様々な工事、修繕を実施している。今年度は 1 億 2,000 万をかけ、神島田小学校の屋内運動場、屋根外壁等修繕工事を実施している。
- ・高台寺小学校の屋内運動場長寿命化改修工事について、令和 7 年 3 月議会に 3 億円を超える補正予算案を提出しており、全額を繰り越して、令和 7 年度事業として実施していく。
- ・新規事業としては、東小学校東館屋上等改修工事 1,911 万 8,000 円、神島田小学校渡り廊下改修工事 1,145 万 9,000 円、暁中学校高架水槽（北館・南館）改修工事 2,662 万円、藤浪中学校校内電話整備費 384 万 6,000 円、神守中学校の普通教室用木製ロッカー設置費 654 万 5,000 円等の工事整備費などあわせて 6,886 万円を計上した。
- ・工事整備費とは別に、公共施設等修繕料 6,853 万（小学校の公共施設等修繕料 4,283 万 6,000 円、中学校の公共施設等修繕料 2,569 万 4,000 円）を計上した。児童生徒が安心、安全な学校生活を送れるよう、学校施設の適正管理

に努めていく。

- ・ 中学校の教育振興費は5,749万1,000円で、前年度比1,763万7,000円の増額となっている。来年度は4年に一度の中学校の教科書改訂が行われるため、そのための教師用の指導書、教材等の購入費用として1,698万円を計上した。
- ・ 学校給食共同調理場費として4億9,097万5,000円を計上している。
- ・ 津島高校の中高一貫校が令和7年4月から開校するにあたり、新設される津島中学校の生徒、教職員への給食提供費用の歳入予算として、愛知県から1,400万円程度納入される予定である。
- ・ 津島市では、子育て支援策として、小中学校の給食費の完全無償化事業を昨年度に引き続いて今年度も実施している。先月実施した教育施策アンケートにおいても、9割以上の方が継続を希望しており、子育て支援策として、大変好評をいただいている。引き続きおいしい給食を目指して、安心安全な学校給食を提供していきたい。

(社会教育課長)

- ・ 令和7年度の社会教育課の予算案として、5億7,446万2,000円を計上した。前年度と比較して、1億4,799万円の増額、前年度比34.7%の増となった。
- ・ 社会教育総務費7,915万5,000円は、前年度比3.5%の増となった。
- ・ 社会教育・文化振興事業については、市民大学講座などの生涯学習事業、文化祭美術展、芸能交流会等の文化振興事業のほか、はたちの集いを始め、青少年関連事業などに333万円を計上した。
- ・ 文化財保護事務については、堀田家住宅や氷室作太夫家住居の管理費のほか、市内の指定文化財に対する補助金をはじめ、文化財保護に関する事務費として、4,380万8,000円を計上した。そのうち、新規事業として、堀田家住宅南側塀改修工事1,892万円を計上した。
- ・ 放課後子ども教室推進事業として2,099万5,000円を計上した。
- ・ 文化財保存活用地域計画策定事業は、本市に所在する未指定を含めた多様な文化財の総合的な保存活用に関するマスタープラン、アクションプランとなる計画を令和6年度から令和8年度までの3か年で策定する事業である。2年目となる令和7年度の事業費として337万8,000円を計上した。
- ・ 事務管理経費764万4,000円は、親愛集会所、永楽集会所の指定管理委託料181万7,000円、津島市PTA連合会運営助成金52万6,000円など社会教育

関係団体への補助金のほか、必要経費を計上した。

- ・ 図書館費 1 億 1,762 万 4,000 円は、前年度比 1.5%の増となった。
- ・ 主なものとして、指定管理委託料 9,265 万 3,000 円、電子図書館システム使用料 66 万、図書購入費 1,038 万 5,000 円のほか、雑誌や児童図書を消耗品費として計上した。なお、電子図書購入費は図書購入費の中に含まれている。
- ・ 生涯学習センター費は、施設の維持管理、整備及び運営費用に 1 億 5,984 万 4,000 円を計上した。前年度比 5,839 万 2,000 円の増額、57.6%の増となった。
- ・ 新規事業として、高圧受変電設備改修工事監理委託料 372 万 9,000 円、高圧受変電設備改修工事 9,977 万を計上した。

(教育委員会事務局次長兼東公園整備推進室長)

- ・ スポーツ関連予算について、2 億 1,464 万 8,000 円を計上した。前年度と比較して 8,570 万円 4,000 円の増額、66.5%の増となった。
- ・ 保健体育総務費 3,994 万 5,000 円の主なものとして、各種大会等運営事業 1,184 万 9,000 円、事務管理経費 2,809 万 6,000 円を計上した。
- ・ 保健体育総務費の新規事業について、学校体育施設開放事業において、電子錠による管理や防災時における体育館利用ができるよう、小中学校の体育館や武道館において物理鍵から電子錠に取りかえするための費用として、スマートロック設置委託料 403 万 5,000 円を計上した。
- ・ 事務管理経費の主なものとして、令和 5 年度より実施しているスポーツ推進計画を進めるために、東公園一帯整備基本構想の策定のための費用を各節に計上した。
- ・ 体育施設費として 1 億 7,470 万 3,000 円を計上した。
- ・ 体育施設費の主なものは、スポーツ推進計画に位置付けしている既存スポーツ施設を安全安心に利用していただくための施設管理経費である。
- ・ 市営球場の整備や東公園多目的グラウンドからの飛球防止用ネットの設置費用として公共施設等修繕料 371 万円、東公園一帯や葉苺スポーツの家の管理のための指定管理料として教育・体育施設及び都市公園指定管理委託料 8,300 万円、錬成館の LED 化として 73 万円、錬成館高圧受変電設備の更新、容量を増やすための工事として 8,444 万 7,000 円、老朽備品の購入費として 89 万 6,000 円を計上した。

(奥村委員)

- ・給食費を無償にさせていただいたり、引き続きプログラミング授業に潤沢な予算を割いていただいたり、子どもたちにたくさんの予算を使っていただき、感謝申し上げます。
- ・修理費もすごく増額されていて少し驚いたが、1つ1つ直していただけると、大変安全に学校生活を送ることができる。安全にも配慮していただき感謝申し上げます。

(畑中委員)

- ・奥村委員もおっしゃる通り、学校を訪問すると、体育館等が綺麗になっている。綺麗にさせていただき感謝申し上げます。
- ・津島市はプログラミング教育や給食費無償化等を他市町村に先駆けて実施している。ゆくゆくは津島市に住んでもらえるよう、津島市は子育てしやすいまちだということを近隣市町村の住民に知ってもらえるよう頑張っていたきたい。

(古川委員)

- ・給食費の無償化はじめ、子どもたちに対する支援のための予算が大変充実している印象を受けた。
- ・また、国際交流事業についても、ますます活発に推進されていくとよい。
- ・さらに、津島中学校の開設にあたっては、給食事業等々も含め多大な支援をしていただけるようであり、今後のよりよい発展に期待していきたい。

(小出委員)

- ・事務局の方と一緒に学校を回ることが度々あるが、その際、学校の先生方から、「どうしてもここの具合が悪いので臨時的に対応してほしい。」という声を聞くことがある。それに対応することは非常に大事なことだと思う。
- ・事務局裁量費のような、使い道に融通がきく予算があると、その場でもっと具体的な話ができ、学校はもっとよくなると思う。現場の声を反映させた対処がすぐにできると、子どもも喜ぶし、保護者も喜ぶので、ぜひそういったシステムを作っていたきたい。
- ・今、津島市の子どもたちが市外へ行ったとき、「僕の学校こうだったよ」と自慢できるようなことが2～3個あるが、さらに増やすことができれば、津島市の評判がよくなるし、子どもたちの大きな自信になる。大人も津島市出身だと胸を張ることができるので、1つ2つと増やしていただけるとありがた

い。

- ・津島市は、この近辺では先進的だと思っているが、さらに前に進めるとよい。

(浅井教育長)

- ・給食費の無償化は、もう少し新聞などで取り上げられてもいいのではないかとよく思うが、なかなか話題に上がらない。
- ・全国的に見ても、県内で見ても、給食費の無償化を実施している市町村は少ないので、話題に上がるよう、情報発信について考えなくてはならない。
- ・市の教育の特色であるプログラミング教育、国際交流活動、コミュニティスクール、教育支援センターの取組等が一定の段階まで来ている。
- ・T P P（津島プログラミングプロジェクト）も、年数を重ねてきて、少しずつ形がはっきりしてきたので、今後ますます発展できるとよい。
- ・市の教育支援センターも、不登校が多い中、通う子どもだんだん増えてきているため、教育支援センターを通じて救うことができればよいと思っている。
- ・修繕にたくさんの予算をつけていただき感謝している。
- ・学校の修繕、体育館の全面改修だけではなく、各学校が必要に思っているところの修繕ができるようになってきている。
- ・社会教育に目を転じると、市にたくさんある文化財をどう保護、保存し活用していくかが、他の市町村と違って非常に大きな課題になっている。それに対してもお金が少しずつ増えてきてありがたいと思っている。
- ・ここ数年、スポーツ施設やスポーツに対する取組にも目が行き出している。東公園一帯の開発が非常に大きいと思っている。
- ・全般に予算がつく予定のため、このようなことを活用しながら、教育行政の方を進めていきたい。

(日比市長)

- ・津島市は全国で初めて、小学校に40トンの耐震性貯水槽を設置した。来年度は約3億7,000万円をかけて、東小学校と西小学校への耐震性貯水槽の設置を進めていく。なお、北小学校は、すでに文化会館の地下に設置されている100トンの貯水槽を活用する。

- ・これにより、8つすべての小学校区で、災害時に飲料水を提供できる環境整備が完了する。今後も防災対策を計画的に進めていく。
- ・体育館の改修工事も、今年度は神島田小学校、来年度は高台寺小学校と、計画的に進めている。学校教育環境の整備も、継続して計画的に進めていく。
- ・これも、平成26年度からの10年間で、職員が徹底的に無駄を省くことを継続的に進め、効果額約101億円の徹底的な行財政改革を実施したからできたことである。
- ・いただいたご意見を参考に事業を進めて参りたい。

2) 議題2 津島市スポーツ推進計画について

(日比市長)

- ・津島市スポーツ推進計画について事務局から説明する。

(教育委員会事務局次長兼東公園整備推進室長)

- ・スポーツ推進計画の冒頭に、「「スポーツでつながる・つくる未来の津島」の実現」と題した市長挨拶文を掲載する。
- ・人生100年という時代では、スポーツは個人の人生や社会を豊かにすることが期待できることから、本計画で、「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」を進めるために、「つくるスポーツ」である「スポーツ施設整備方針」を示し、総合体育館やプール、野球場などの施設整備の方向性を明らかにし、地域でスポーツ振興に取り組んでいくというメッセージとなっている。
- ・教育長の挨拶では、「楽しみな「津島市スポーツ推進計画」」と題し、競技スポーツから健康増進、楽しむスポーツへと変わっていく、楽しい生涯スポーツが目標である、今後この計画の実現を楽しんで進めて欲しいというメッセージを記載している。
- ・生涯にわたり心身ともに健康であるためにスポーツに親しんでいただくため、市としては、市民がスポーツに関わることができるよう、環境整備を第一に進めていきたいと考えている。
- ・市民や企業、団体などにスポーツ推進計画の策定経過を周知するため、津島

市スポーツ振興通信を計5回発行した。ホームページでも掲載している。

- ・津島市スポーツ推進計画概要について説明する。
 - ・津島市スポーツ推進計画は、スポーツ基本法に基づくスポーツ基本計画や、愛知県スポーツ振興計画、津島市総合計画などを踏まえて、スポーツを楽しむ環境の充実や、スポーツによる地域活性化を図るために策定する。
 - ・また、第5次津島市総合計画の施策の方針において、気軽に様々なスポーツを親しむ機会を提供し、市民が主役となった生涯スポーツを図ると記載しているが、老朽化が進んでいるスポーツの施設の整備方針がなく、整備できていないという状況にあることから、本計画を策定する。
 - ・計画期間は令和7年度から10年間の令和16年度まで、スポーツ施設の整備方針は20年間の令和26年度までの方針とする。
-
- ・国籍や性別、年齢、障がいの有無にかかわらず、スポーツを通じて、誰もがいつでも、どこでも、いつまでもつながることができるまちを目指し、また、市民、地域など様々な関係団体等が連携・協働し、スポーツに親しめる環境づくりを進めることで、よりよい未来の津島にしていこうという思いを込め、基本理念を「スポーツでつながる・つくる未来の津島」とした。
-
- ・基本理念を実現するため、「するスポーツの推進」「みるスポーツの推進」「ささえるスポーツの推進」「つくるスポーツの推進」の4つの基本目標を設定した。
 - ・「するスポーツの推進」では、誰もがスポーツを楽しむための機会を提供する。
 - ・「みるスポーツの推進」では、スポーツ観戦による感動などだけではなく、スポーツを実施するきっかけに繋がる機会を創出する。
 - ・「ささえるスポーツの推進」では、スポーツを「ささえる」担い手の育成や、様々な主体との連携体制の充実を進める。
 - ・「つくるスポーツの推進」では、「する」「みる」「ささえる」スポーツを推進するための環境を創出する。また、「つくるスポーツの推進」はスポーツ施設整備方針としている。
-
- ・施策体系では、「する」「みる」「ささえる」「つくる」スポーツの推進のための基本施策や取組を示している。
-
- ・成果目標は、達成状況を適正に評価するための目標を設定する。国や県の計

画を参酌し、実現可能な目標設定を行う。

- ・「するスポーツの推進」の中間目標として、週に1日以上運動やスポーツを行った割合を70%と設定したのは、国が最も重視している項目で、国では、令和8年度の目標を70%と設定しているため、この目標を参酌して設定した。
- ・東公園一体整備基本構想の策定について説明する。
- ・「する」「みる」「ささえる」「つくる」スポーツを実現するため、今後は、スポーツ推進計画やスポーツ施設整備方針に沿って、東公園地域周辺の現状や市民ニーズなどを的確に捉え、東公園を一体的に整備するために必要な整備基本方針、整備のための基本事業、事業手法、課題、資金調達など、実現可能な東公園一体整備のための基本構想を策定する予定である。

(奥村委員)

- ・計画がかなりまとまっていて、前回お聞きしたときより具体的だと感じた。
- ・子どもたちの部活動が制限されたり、スポーツ競技の数が減ったりしている。スポーツは子どもの頃に身近にあって、そこから繋がって大人になっても続けることが多いと思う。そういう意味で、やはり子どもたちの学校での部活動の環境は悪くなっているが、こうして市が取り組むことで身近に行えるようになれば、継続して、子どもたちもそこへ行ってできるようになり、大人も、また改めて近くでやってみようとなるなど、スポーツが身近になると思う。
- ・健康にも繋がることで、非常にいい取組だと思う。1つ1つ良くしていくことで、市民の意識も変わってくると思うので、10年かかるとしても、ぜひやり遂げていただきたい。

(畑中委員)

- ・私自身も、年々運動不足を痛感しており、体を動かさなくてはいけないと思っているが難しい。気軽に身近なところで体を動かす施設があることが大事だと思う。
- ・10年かけて、よいものが出来上がっていくことを期待している。

(古川委員)

- ・スポーツの関わりについて、「する」「みる」「ささえる」「つくる」スポーツと、フェーズも大変明確化されており、よりわかりやすい内容の計画であると感じた。市の取組が具現化していくとよいと思う。

(小出委員)

- ・各委員がおっしゃったとおり、非常に具体的でわかりやすい計画だと思う。これだけのものを短期間で作ることは大変だったと思う。今後実施していくことも大変だと思う。とてもじゃないが、1人や2人ではできない。
- ・市が総がかりでやることで、市民もその勢いに飲み込まれると思う。いろんな方面と声をかけ合って、東公園をどうしようかという話し合いの場を持つとよいと思う。市民のいいアイデアが出てきて、それを活用できるとよい。
- ・時たま東公園を通った際に様子を見てみると、多くの人が使っている。この計画に沿っていけば、さらに人が集まって、活用されるようになるのかなと思って、楽しみにしている。可能なら早急にお願いできたらと思う。

(浅井教育長)

- ・昨日、天王川公園の新しく整備されたジョギングコースを歩いていたら、天気がよかったこともあり、本当にたくさんの方がお見えになっていた。整備が進むと、こんなたくさんの方がお見えになるということ、天王川公園に行くたびに思う。
- ・先日、テレビでカーリングの試合を見ていた。日本ではマイナーなスポーツだったが、長時間カーリングが放送されていて、会場も、北海道ではなく横浜に作った会場で開催していた。これもロコ・ソラーレのおかげかなと思った。ロコ・ソラーレの選手の活躍で、カーリングがオリンピックの中でもメジャーになった。トップアスリートが活躍して、「みるスポーツ」をみんなで支えて、さらにそれに参加していくようになっていくと思った。
- ・津島市にもスポーツ行政の指針ができ、これに基づいて今後環境を整備して、またスポーツのあり方が変わっていくと期待している。
- ・私たちが子どもの頃や、私が教師をやっていた頃とは、スポーツに対する考え方が変わってきている。
- ・これまで、日本の学校体育では、競技に勝つことが非常に優先されていたが、これからはスポーツを楽しむ生涯スポーツに段々とシフトしていくと思う。
- ・ちょうどそんなときに、中学校の部活動の地域移行という、学校だけで部活動を行ってはいけないという方針が出てきている。これには、部活動を指導してくださる指導員への謝金の問題が出てくるが、学校の部活動や日本

の学校体育のあり方が大きく転換期を迎えている。

- ・スポーツのあり方が大きく変わろうとしているときにスポーツ推進計画を策定することは非常にプラスになると思う。1歩でも2歩でも市のスポーツ行政が前に進むことを願っている。

(日比市長)

- ・天王川公園にスターバックスコーヒーやジョギングコースができて、今度はライトアップ大作戦を行うなど、1つずつ仕掛けを行っていくと、入園者の層が変わってきて、若い人たちが集まるようになる。
- ・このようなことの第2弾を東公園で行う。「スポーツ」をキーワードに、憩いの空間でありながら、スポーツを楽しめる空間になるよう、令和6年度と令和7年度の2か年で基本構想を策定する。
- ・どう整備していくのが一番よいか、使い勝手がよくて、楽しくて人が集まる場所にするにはどうしていくのがよいかを市だけで考えていてはアイデアが狭まってしまうので、コンサルに入ってもらい、実際にヒアリングをしながらアイデアを募って、基本構想に落とし込んでいく。そしてその流れでもって、民間の投資も促す。
- ・スポーツ振興通信で、スポーツ推進計画の策定経過を発信してきたが、まだまだ気に留める方が少ない。それに負けずに、Instagram など新しいツールも使って発信を続けて、関心を持ってもらい、賛同してくれる人を増やせるよう1つ1つ進めていく。

3) その他

(企画政策課長)

- ・次回の総合教育会議について、日程が決まり次第、教育委員会を通じて連絡する。